



第 18 号

令和 2 年 9 月 1 日
高山赤十字病院

病院長よりこんにちは！

拝啓 残暑も日ごとに和らぎ、初秋の季節となりました。開業医の先生方はじめ関係機関の皆様には患者さんのご紹介など相互連携にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

9月9日はその語呂合わせから昭和57年に「救急の日」として制定されました。国際赤十字・赤新月社連盟は、毎年9月第2土曜日を「世界救急法の日（ワールド・ファースト・エイド・デー：WFAD）」と定め、世界中の赤十字・赤新月社で救急法を普及するイベントを開催しています。近隣の赤十字講習会はあいにく新型コロナの影響で中止が相次いでいますが、ホームページ「日本赤十字社 WEBCROSS」にはクイズ形式で救急法をはじめ水上安全法、幼児安全法、健康生活支援講習を見ることができます。動画もあり、わかりやすく解説していますのでぜひご一読ください。

先日の猛暑日にも青々とした栗の実が落ちているのを見かけました。空が徐々に高く感じられるようになり夏雲の上に、刷毛で掃いたような秋の雲が見えることがあります。新涼の折、爽やかな秋を満喫しましょう。

敬具

病院長 清島 満

【同封文書】

○病院長あいさつ「病院長よりこんにちは！」

退任・新任医師のご案内/ペースメーカー外来の増設/

高山赤十字病院 Facebook …… P2

先生ってこんな人 皮膚科 市橋 直樹 医師 …… P3

○外来担当医表 9月分

○高山赤十字病院診療案内

…患者さんによるご予約の場合に当院への紹介状と共にお渡しいただくと便利です

○地域連携係よりお知らせ



◆◆退任・新任医師のご紹介◆◆

9月30日付けにて脳神経外科・川崎智弘医師（H27年卒）が退職いたします。地域の先生方にはお世話になり誠にありがとうございました。

10月1日より新任として野村悠一医師（H19年卒）が着任します。

◆◆【循環器内科】ペースメーカー外来の増設◆◆

ペースメーカー外来は、これまで月1回（第1水曜日）のみでしたが、

9月より 月2回（第1・第3水曜日） 診察を行います。

担当医は「たかだクリニック」の堀部永俊先生です。

◆◆高山赤十字病院 Facebook◆◆

Facebookでは【仕事凶鑑】と題し、職種を越えて輝く研修医やコメディカルを取り上げています。ぜひFacebookをご覧ください。

同時に医学生にむけて研修紹介動画をUPしました！
病院見学やリモートでの病院説明を随時受付中です。

Facebook
QRコード



◇医学生の病院見学・リモート病院説明◇

【担当】 高山赤十字病院 教育研修課

【メール】 dr_kenshu@takayama.jrc.or.jp

【電話】 0577-32-1111 内線 3362





◇◇『先生ってこんな人』シリーズ⑩◇◇

開業医の先生と「顔の見える関係」を築き、安心して患者さんをご紹介いただけるようスタートした『先生ってこんな人』シリーズ。

第10回目は、皮膚科部長の市橋直樹先生です。

ご経歴を教えてください

高山市久々野町に生まれ育ち、斐太高等学校を卒業し宮崎医科大学に進学しました。

当時、医学部で英語の試験がなかったのが唯一旭川医大と宮崎医大のみで、センター試験を経て、行くなら暖かいところがいいと思い宮崎へ。滞在した6年間で雪は一度ぱらりと降る程度、冬は電気こたつひとつで凌げる寒さで、夏も湿気なく住みやすいところでした。



皮膚科医を目指したきっかけは何ですか？

学生時代、初代皮膚科教授井上勝平先生の一風変わったお人柄に魅了され皮膚科を選びました。井上先生は臨床を大切にされていて、回診もお一人お一人丁寧に対応していらっしゃったことが印象に残っています。患者さんの前では部下を褒め、カンファレンスでは叱咤が飛び緩急ある指導で教室を牽引していらっしゃいました。

卒後（S63年）は井上教授と懇意でいらした岐阜大学の森教授にご指導いただき、しばらく大学と連携病院を行ったり来たりしながら専門医を取得しました。専門医取得後は赴任する病院で一名体制の勤務が続き、40歳になった際当院勤務となり帰郷しました。



飛騨地域を見渡してみると皮膚科医は少ないですね。

常勤の皮膚科専門医は、塩谷先生（しおたにクリニック）、荒木先生（久美愛厚生病院）、野村先生（下呂温泉病院）と私の4名です。

特に塩谷先生には入局した際にご指導いただきお世話になりました。



診察で大切にしていることはありますか？

宮崎医大の井上教授（当時）や岐阜大学の森教授（当時）の患者さんと真摯に向き合う姿勢を手本に、患者さんが納得されるまでわかりやすく説明することを心がけています。



開業医の先生方へメッセージをお願いします。

夏は皮膚科のシーズンと言っても過言ではないほどです。

一番多いのはやはり足白癬で、夏は4人に1人の割合で罹患しているといわれています。手や体、頭にも感染しますが、9割近くは足と爪です。皮がむけたり、趾間が白くふやけたり、足の裏が硬くなったりする症状が現れます。また、足の裏に水疱ができたり、趾間がジクジクする疾患は足白癬だけではありません。細菌が侵入し、蜂窩織炎など細菌感染症をおこすこともありますので、これくらいの症状だからと思わず、ご遠慮なく早めの受診をおすすめします。

皮膚科は午後も受付を行っており、患者さんにはお気軽にご来院いただければと思います。

特に、当院の他科にかかっていらっしゃる患者さんは、その傍らでの受診が可能ですので当日に受付いただくことも出来ます。

開業医の先生方にも当日受診ご希望も、ご遠慮なく連絡いただければと思います。



休日はどのように
過ごしていらっしゃいますか？

趣味らしい趣味はありませんが、糖尿病予防プログラムの応募をきっかけにジムに通っていました。今はコロナ禍でジムにも行けず残念ですが仕方ないですね。

他、昔の映画は好きで、最近では石坂浩二主演の金田一耕助シリーズを見ています。



いちはし なおき
皮膚科 市橋 直樹 医師

(日本皮膚科学会専門医)

【皮膚科の受付時間】

午前 8：30～11：00

午後 14：30～16：00

(火曜日午後のみ休診)

当日の診察もお気軽にご来院ください。

